

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 25 日

会社名 アルファグループ株式会社

(JASDAQ ・ コード番号 : 3322)

(URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>)

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 代表取締役会長 吉岡伸一郎

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 猪野由紀夫

T E L : (03) 5469-7300

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等については、簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

連結 (新規) アルファインターナショナル株式会社
アルファヒューマン株式会社
ものづくりアルファ株式会社
アルファソリューションズ株式会社

2 . 平成 18 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (単位 : 百万円未満切捨)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 1 四半期	2,540	(46.9)	123	(0.4)	100	(0.5)	40	(30.9)
17 年 3 月期第 1 四半期	1,729	(2.0)	123	(49.5)	101	(22.5)	59	(23.3)
(参考) 17 年 3 月期	8,686	(18.6)	769	(52.8)	705	(40.7)	370	(31.1)

	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 1 四半期	1,405	14	1,331	15
17 年 3 月期第 1 四半期	8,801	07	8,185	63
(参考) 17 年 3 月期	13,079	62	12,202	73

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
期中平均株式数

平成 18 年 3 月期第 1 四半期 29,144 株 平成 17 年 3 月期第 1 四半期 6,730 株

当社は平成 16 年 9 月 21 日付で株式 1 株につき 4 株の株式分割を行っており、17 年 3 月期の
1 株当たり指標は、期首に当該分割が行われたと仮定して算出しております。

なお、当該株式分割が 17 年 3 月期期首に行われたと仮定すると、17 年 3 月期第 1 四半期の
1 株当たり四半期純利益は 2,200 円 26 銭、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は 2,046
円 40 銭となります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

全般的概況

当第 1 四半期(平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 6 月 30 日まで) の我が国経済は、原油価格の高騰、
原材料値上がり、回復感の見えない個人消費など、本格的な回復とは言えないまま推移しました。

このような経済情勢の中、当社グループは、平成 17 年 10 月 1 日を期して、カウネット部門のエリ
アエージェント業を除く、全ての事業部門を子会社化することになり、持株会社体制へ移行すること

に致しました。これによりそれぞれの事業特性・事業環境に即した迅速な意思決定を可能にして機動的な事業経営を行い、資産管理と損益責任を明確にしていくことで、グループ全体で最大の成果をあげ、企業価値を高めてまいりたいと考えております。さらに長期的視点に立った目標達成に取り組むべく、平成 17 年 6 月に中期経営計画を発表いたしました。当四半期につきましては、その中期経営計画の出発点でもあり、移動体通信・オフィス通販・テレマーケティング事業・プロモーションデザイン・業務請負・人材派遣分野で積極的に事業展開を進め、業容拡大に努めてまいりました。

この結果、当第 1 四半期の業績は、売上高 25 億 40 百万円（前年同期比 46.9%増）、営業利益 1 億 23 百万円（前年同期比 0.4%減）、経常利益は 1 億円（前年同期比 0.5%減）、四半期純利益は 40 百万円（前年同期比 30.9%減）となりました。

セグメント別概況

< ビジネスパートナー事業 >

（モバイルビジネス部門）

モバイルビジネス部門の属する移動体通信業界におきましては、携帯電話及び P H S の加入契約数は平成 17 年 6 月末時点で 8,800 万台を超え、加入契約数は 17 年 3 月末時点より約 100 万台増となり、F O M A 端末のラインナップの充実化により買替需要が中心となりました。

このような環境の中で、当社グループにおきましては、代理店の開拓及び販売支援を積極的に行うことで販売台数を増加させ、販売台数は 7 万 5 千台（前年同期比 4.5%増）となり、平成 17 年 6 月末の代理店数は 239 店、運営受託店数は 11 店となりました。また、6 月 1 日より a u の一次代理店の事業を開始しました。a u 一次代理店事業におきましては、当初代理店への支払手数料が発生しますが、「基本使用料と通話料・データ通信料の継続インセンティブ」を得ることで、将来的な継続安定収入が獲得できます。

この結果、当第 1 四半期の売上高は 4 億 54 百万円（前年同期比 72.3%増）、営業利益 68 百万円（前年同期比 40.7%減）の増収減益となりました。

当社グループは a u 一次代理店事業以外の既存二次代理店事業においては、機器販売代金と支払手数料の差引金額を売上高に、機器仕入代金と受取手数料の差引金額を売上原価にそれぞれ計上しております。当該計上方法を採用している理由は、個々の移動体通信端末について機器販売代金と支払手数料及び機器仕入代金と販売手数料が必ずしも付きの関係であるため、差し引きで計上することが当社グループの実態をより正確に表していると判断したこと、ならびに当該部門は基本的に在庫を持たないことから当該処理を行っても特に問題がないと判断したためであります。しかしながら、移動体通信端末を販売している一次代理店の中には、機器販売代金と受取手数料の合計額を売上高に、機器仕入代金を売上原価に、支払手数料を販管費に計上している会社もあるため、比較する際に留意する必要があります。

なお、当該方法で計上した場合の当社グループモバイルビジネス部門(a u 一次代理店事業を含む)の売上高、売上原価及び支払手数料は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成 18 年 3 月期 第 1 四半期	平成 17 年 3 月期 第 1 四半期	(参考) 平成 17 年 3 月期
機器売上	3,162	2,995	11,861
受取手数料	3,252	3,221	14,398
売上高	6,415	6,216	26,260
売上原価	3,339	3,302	14,615
売上総利益	3,075	2,913	11,644
支払手数料	2,914	2,731	10,869

(カウネット部門)

カウネット部門の属するオフィス文具通販市場は引き続き市場は拡大するなか、専門的な商品や手に入りにくいアイテムなどをはじめとした取扱商品の充実化とコクヨのブランド力により順調に拡大してきております。

このような環境の中で、当社グループにおきましては、法人顧客の開拓に注力し、法人顧客数を 70 万事業所に増加させてまいりました。この結果、当第 1 四半期の売上高は 10 億 31 百万円(前年同期比 12.7%増)、営業利益 50 百万円(前年同期比 51.2%増)の増収増益となりました。

(その他部門)

当社グループでは、Bフレッツ、TEPCOひかりの契約申込取次ぎに加え、日本テレコム「おとくライン」の販売業務をおこなっております。結果として、売上高は 4 億 13 百万円、営業利益 1 億 68 百万円となりました。

<人材サポート事業>

(プロモーションデザイン部門)

プロモーションデザイン部門におきましては、既存クライアントからの受注を中心に営業活動を行いました。その結果、当第 1 四半期の売上高は 41 百万円(前年同期比 38.1%減)、営業利益 8 百万円(前年同期比 17.0%減)の減収減益となりました。

(スタッフサービス部門)

スタッフサービス部門の属する軽作業請負市場は、景気回復とともに着実に需要も拡大しております。このような状況下において、クライアントのニーズに対応すべく短期から長期の請負、一般の派遣から技術者の派遣業務を展開してまいりました。一方、支店の出店や、新たなサービスの提供のための先行投資として、人員の補充を推進した結果、販売管理費が増加しました。その結果、当第 1 四半期の売上高は 5 億 98 百万円(前年同期比 24.9%増)、営業損失 69 百万円(前年同期 営業利益 43 百万円)の増収減益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(単位:百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	4,178	2,039	48.8	69,707 69
17年3月期第1四半期	2,882	1,657	57.5	236,289 03
(参考)17年3月期	5,044	1,989	39.4	68,865 93

(注) 期末発行済株式数

平成18年3月期第1四半期 29,264株 平成17年3月期第1四半期 7,016株

当社は平成16年9月21日付で株式1株につき4株の株式分割を行っており、17年3月期の1株当たり指標は、株式分割後の株数に基づいて算出しております。

なお、当該株式分割が17年3月期第1四半期に行われたと仮定すると、17年3月期第1四半期の1株当たり株主資本は59,072円25銭になります。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(単位:百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	202	211	183	930
17年3月期第1四半期				
(参考)17年3月期	643	473	689	1,527

(注) 四半期連結キャッシュ・フローにつきましては、当四半期より開示を行っておりますので前年同四半期の実績の記載は行っておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、売上債権の回収等があったものの、借入金の返済や税金等の納付のため、前連結会計年度末と比較して597百万円減少し、当四半期末には930百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、202百万円となりました。主な原因は、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の回収等があったものの、仕入債務や前受金の減少や税金の納付が発生したためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、211百万円となりました。主な原因は、投資有価証券の取得や差入保証金の差入による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、183百万円となりました。主な原因は、短期借入金の返済によるものです。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、
(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参 考]

平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	6,319	205	108
通 期	14,821	628	333

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 11,533 円 75 銭

平成 18 年 3 月期の個別業績予想（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	3,543	63	34
通 期	5,726	63	36

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 1,247 円 71 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期・通期の業績予想につきましては、当第 1 四半期の業績が計画どおりに進捗しているため、平成 17 年 5 月 23 日発表の業績予想値を変更しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

区分	当四半期 平成18年3月期 第1四半期	前年同四半期 平成17年3月期 第1四半期	増減		(参考) 平成17年3月期
	金額	金額	金額	増減率 (%)	金額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	930,154	521,605	408,548	78.3	1,527,809
2 受取手形及び売掛金	1,235,522	1,508,527	273,004	18.1	1,658,450
3 有価証券	49,980		49,980		
4 たな卸資産	148,789	17,190	131,598	765.5	5,359
5 繰延税金資産	21,792	14,296	7,495	52.4	21,792
6 未収入金	224,912		224,912		394,049
7 立替金	61,784	137,662	75,878	55.1	96,925
8 その他	254,886	142,997	111,889	78.2	275,570
9 貸倒引当金	14,413	9,695	4,717	48.7	14,179
流動資産合計	2,913,408	2,332,583	580,824	24.9	3,965,776
固定資産					
(1) 有形固定資産					
1 建物	38,353	31,604	6,749	21.4	42,619
2 その他	70,438	31,989	38,449	120.2	71,653
有形固定資産合計	108,791	63,593	45,198	71.1	114,272
(2) 無形固定資産					
1 営業権	182,103		182,103		208,118
2 その他	52,753	5,653	47,100	833.2	44,395
無形固定資産合計	234,856	5,653	229,203	4054.4	252,513
(3) 投資その他の資産					
1 投資有価証券	150,951	2,501	148,450	5,935.4	3,501
2 長期貸付金	34,172	31,502	2,669	8.5	36,722
3 繰延税金資産	73,990	13,008	60,981	468.8	73,990
4 差入保証金	651,058	401,554	249,504	62.1	582,820
5 その他	43,703	47,838	4,134	8.6	47,361
6 貸倒引当金	32,298	15,766	16,532	104.9	32,531
投資その他の資産合計	921,577	480,638	440,938	91.7	711,864
固定資産合計	1,265,226	549,885	715,340	130.1	1,078,650
資産合計	4,178,634	2,882,469	1,296,164	45.0	5,044,427

区分	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
	平成18年3月期 第1四半期	平成17年3月期 第1四半期	金額	増減率 (%)	平成17年3月期
金額	金額	金額	金額	金額	金額
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	1,010,852	681,287	329,565	48.4	1,146,274
2 短期借入金	300,000	112,500	187,500	166.7	500,000
3 1年以内償還予定社債	80,000	30,000	50,000	166.7	80,000
4 未払金	141,215	105,753	35,462	33.5	218,191
5 未払法人税等	62,939	43,065	19,873	46.1	289,512
6 前受金	1,826		1,826		262,793
7 賞与引当金	3,886		3,886		
8 その他	158,345	95,840	62,505	65.2	180,760
流動負債合計	1,759,066	1,068,445	690,620	64.6	2,677,532
固定負債					
1 社債	25,000	105,000	80,000	76.2	25,000
2 長期借入金	200,000		200,000		200,000
3 その他	150,220	51,220	99,000	193.3	152,220
固定負債合計	375,220	156,220	219,000	140.2	377,220
負債合計	2,134,286	1,224,665	909,620	74.3	3,054,752
(少数株主持分)					
少数株主持分	4,422		4,422		
(資本の部)					
資本金	493,548	478,548	15,000	3.1	488,898
資本剰余金	453,150	438,150	15,000	3.4	448,500
利益剰余金	1,093,227	741,105	352,122	47.5	1,052,275
資本合計	2,039,926	1,657,803	382,122	23.0	1,989,674
負債、少数株主持分 及び資本合計	4,178,634	2,882,469	1,296,164	45.0	5,044,427

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

区分	当四半期 平成18年3月期 第1四半期	前年同四半期 平成17年3月期 第1四半期	増減		(参考) 平成17年3月期
	金額	金額	金額	増減率 (%)	金額
売上高	2,540,160	1,729,081	811,079	46.9	8,686,475
売上原価	1,791,875	1,333,175	458,699	34.4	6,425,783
売上総利益	748,284	395,905	352,379	89.0	2,260,691
販売費及び一般管理費	624,774	271,911	352,862	129.8	1,491,279
営業利益	123,510	123,994	483	0.4	769,411
営業外収益	4,513	670	3,842	572.7	67,077
営業外費用	27,436	23,533	3,902	16.6	131,075
経常利益	100,587	101,131	543	0.5	705,413
特別利益					
特別損失	2,213		2,213		13,309
税金等調整前四半期 (当期)純利益	98,374	101,131	2,757	2.7	692,103
税金費用	60,000	41,900	18,100	43.2	326,602
少数株主損失	2,577		2,577		4,900
四半期(当期)純利益	40,951	59,231	18,279	30.9	370,401

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 平成18年3月期 第1四半期	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	98,374	692,103
2 減価償却費	10,840	36,877
3 営業権償却	26,014	104,059
4 貸倒引当金の増加額・減少額()		21,249
5 賞与引当金の増加額・減少額()	3,886	
6 受取利息及び受取配当金	1,345	3,986
7 支払利息	1,273	3,032
8 固定資産売却損		9,141
9 固定資産除却損	2,213	4,168
10 売上債権の減少額・増加額()	423,112	140,219
11 営業保証金の減少額・増加額()	15,000	64,568
12 仕入債務の増加額・減少額()	135,421	289,181
13 未払金の増加額・減少額()	77,833	29,387
14 前受金の増加額・減少額()	260,967	262,404
15 その他	3,240	41,002
小 計	78,388	903,904
16 利息及び配当金の受取額	1,195	3,209
17 利息の支払額	1,006	2,911
18 法人税等の支払額	281,053	260,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,476	643,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有価証券の取得による支出	49,980	
2 有形固定資産の取得による支出	2,990	109,682
3 有形固定資産の売却による収入	1,500	
4 投資有価証券の取得による支出	147,450	1,000
5 ソフトウェアの取得による支出	11,420	42,646
6 営業譲受に伴う支出		63,000
7 差入保証金の差入による支出	68,320	212,763
8 差入保証金の解約による収入	14,289	27,348
9 貸付けによる支出		205,238
10 貸付金の回収による収入	53,411	147,220
11 その他	518	13,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	211,478	473,699

	当四半期 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期	(参考) 平成 17 年 3 月期
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入金の増減額	200,000	50,000
2 長期借入金の借入による収入		200,000
3 長期借入金の返済による支出		59,058
4 社債の償還による支出		30,000
5 少数株主への株式の発行による収入	7,000	4,900
6 株式の発行による収入	9,300	523,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	183,700	689,230
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	597,655	859,210
現金及び現金同等物の期首残高	1,527,809	668,599
現金及び現金同等物の期末残高	930,154	1,527,809

(注) なお、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、当四半期より作成しておりますので、前年同四半期は記載しておりません。

4. セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

平成18年3月期第1四半期(自平成17年4月1日至平成17年6月30日)

	ビジネスパートナー事業				人材サポート事業			計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
	モバイルビ ジネス部門 (千円)	カウネット 部門 (千円)	その他部門 (千円)	計 (千円)	プロモーシ ョンデザイ ン部門 (千円)	スタッフサ ービス部門 (千円)	計 (千円)			
売上高及び 営業損益										
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	454,342	1,031,321	413,979	1,899,643	41,664	598,852	640,516	2,540,160		2,540,160
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	1,388	2,539	3,936	287	22,426	22,713	26,650	(26,650)	
計	454,351	1,032,710	416,518	1,903,579	41,951	621,278	663,230	2,566,810	(26,650)	2,540,160
営業費用	386,144	982,089	247,897	1,616,131	33,083	690,549	723,632	2,339,764	76,885	2,416,649
営業利益又は 営業損失()	68,207	50,620	168,620	287,448	8,868	69,270	60,402	227,046	(103,535)	123,510

(注) 1 事業区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各部門の主な商品等

(1) ビジネスパートナー事業

モバイルビジネス部門.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。

カウネット部門.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。

その他部門.....Bフレットの契約申込の取次ぎ。

おとくラインの契約申込の取次ぎ。

(2) 人材サポート事業

プロモーションデザイン部門.....プロモーションの企画立案、運営管理等。

スタッフサービス部門.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負、派遣等

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(99,854千円)の主なものは、親会社
本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

平成17年3月期第1四半期(自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)

	ビジネスパートナー事業				人材サポート事業			計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
	モバイルビ ジネス部門 (千円)	カウネット 部門 (千円)	その他部門 (千円)	計 (千円)	プロモーシ ョンデザイ ン部門 (千円)	スタッフサ ービス部門 (千円)	計 (千円)			
売上高及び 営業損益										
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	263,643	914,897	3,742	1,182,282	67,321	479,476	546,798	1,729,081		1,729,081
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高		3,607		3,607	1,482	2,840	4,322	7,930	(7,930)	
計	263,643	918,504	3,742	1,185,889	68,804	482,316	551,121	1,737,011	(7,930)	1,729,081
営業費用	148,662	885,027	8,511	1,042,201	58,119	438,653	496,772	1,538,974	66,112	1,605,086
営業利益又は 営業損失()	114,980	33,476	4,769	143,688	10,685	43,663	54,348	198,036	(74,042)	123,994

(注) 1 事業区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各部門の主な商品等

(1) ビジネスパートナー事業

モバイルビジネス部門.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。

カウネット部門.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。

その他部門.....カメラ付携帯電話機対応シールプリント機器等の販売。

B フレッツの契約申込の取次ぎ。

(2) 人材サポート事業

プロモーションデザイン部門.....プロモーションの企画立案、運営管理等。

スタッフサービス部門.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負。

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(70,849千円)の主なものは、親会社
本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(参考)

前連結会計年度(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

	ビジネスパートナー事業				人材サポート事業			計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
	モバイルビ ジネス部門 (千円)	カウネット 部門 (千円)	その他部門 (千円)	計 (千円)	プロモーシ ョンデザイ ン部門 (千円)	スタッフサ ービス部門 (千円)	計 (千円)			
売上高及び 営業損益										
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	992,353	4,001,533	1,338,049	6,331,936	201,934	2,152,604	2,354,539	8,686,475		8,686,475
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	13,135		13,225	14,709	89,798	104,508	117,734	(117,734)	
計	992,443	4,014,668	1,338,049	6,345,161	216,644	2,242,403	2,459,048	8,804,209	(117,734)	8,686,475
営業費用	545,607	3,883,092	955,449	5,384,150	170,418	2,174,563	2,344,981	7,729,131	187,932	7,917,063
営業利益	446,835	131,576	382,599	961,011	46,226	67,840	114,066	1,075,078	(305,666)	769,411

(注) 1 事業区分は、商品、役務の種類・性質を考慮して区分しております。

2 各部門の主な商品等

(1) ビジネスパートナー事業

モバイルビジネス部門.....移動体通信端末の販売及び通信サービスの契約申込の取次ぎ。

カウネット部門.....最終顧客への事務用品等の通信販売の取次ぎ。

その他部門.....カメラ付携帯電話機対応シールプリント機器等の販売。

Bフレットの契約申込の取次ぎ。

おとくラインの契約申込の取次ぎ。

(2) 人材サポート事業

プロモーションデザイン部門.....プロモーションの企画立案、運営管理等。

スタッフサービス部門.....物流、建築、イベント関連等の短期軽作業の請負。

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(295,442千円)の主なものは、親会社
本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。